

そう だい
総 題 「神の愛と正義」

だいななか あく もんだい
第7課 悪の問題

かめやまと も き
亀山友樹

いち あんそくにち ご ご
1. 安息日午後

あんしよせい く
[暗唱聖句]

かれ め なみだ と し かな なげ
「彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも
ろうく さいしよ す さ もくしろくにじゅういち よん しんきょうどうやく
労苦もない。最初(さいしょ)のものは過ぎ去ったからである。」(黙示録 2 1:4 新共同訳)

こんしゅう せいしよ かみ かんぜん ぜん わたし だらく せかい あく えん
★今週は聖書の神が完全に善であり、私たちの堕落した世界に悪がまん延して
わたし よ あく ひろ
(私たちがいるこの世に悪が広がって) いるのにも関わらず、なぜ私たちが
かみさま しんらい まな
神様に信頼できるかを学びます。



に にちようび しゅ
2. 日曜日:「主よ、いつまででしょうか」

わたし たましい おそ しゅ しへんろく よん しんきょうどうやく
「わたしの魂は恐れおののいています。主よ、いつまでなのでしょう。」(詩編 6:4 新共同訳)

わる わる ひじょう おお わたし き こころ いた
悪いニュースや悪いことが非常に多く、私たちはそれを聞くたびに、心を痛めてしまいます。
かみさま わたし いじょう こころ いた じゅうじ か いた
しかし神様は私たち以上に心を痛めているのです。それはキリストの十字架での痛みによって
りかい
理解することができます。キリストは多くの人に傷つけられ、※罵声を浴びなが
じゅうじ か か ひと わる ぶぶん つみ じゅうじ か か
ら十字架に架られました。人の悪い部分(罪)によって十字架に架かりまし
た。その罪を取り除くためにキリストは十字架で愛の生き方を示されました。
つみ と のぞ じゅうじ か あい い かた しめ
ここで罪に終止符が打たれ、キリストによって完全勝利を得たのです。私たち
はキリストの愛に生きる時に、「主よ、いつまででしょうか」という罪の終わり
もと いの くわ
を求める祈りに加わるのです。



ばせい あ おおごえ きず ことば わるくち い
※罵声を浴びながら: 大声で傷つけるような言葉や悪口を言われること

さん げつようび し
3. 月曜日: 知らないことがたくさんある

なにもの ちしき かみ けいりん かく
「『これは何者か。知識もないのに／神の経綸を隠そうとするとは。』そのとおりです。わたしには

理解できず、わたしの知識を超えた、驚くべき御業をあげつらっておりました。」(ヨブ記
4 2:3 新共同訳)

ヨブは多くの苦しみを経験し、つらい思いをしましたが、ヨブには知らないこと、理解できないこ
とがたくさんありました。私たちも多くの苦しい時、つらい時を経験し、愚痴を言いたくなるよ
うなことがあります。しかし、神様は私たち人間側からすると理解できないようなことをなさる
お方です。神様は私たちを神様の愛の御計画の中で導いてくださっていることを覚えましょう。

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、
万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っていま
す。」(ローマ 8:28 新共同訳)



4. 火曜日：懐疑的な有神論者

「見よ、あなたから遠ざかる者は滅びる。御もとから迷い去る者をあなたは絶たれる。」(詩編
7 3:27 新共同訳)

懐疑的な有神論者とは、「神様がなさることには正しい理由があると信じている。しかし、私たち
は正しい理由がどういうものであるかを知ることができない。なぜなら私たちの知識は限られて
いるからである。だから、この世の悪に対して神様がどのように裁くかを知ることができる立場に
あると期待してはいけない」と信じる人です。

しかし、今この世の悪が広がっているのを見て、神様に疑問を持っ
たとしても、最終的には神様の正しい裁きが私たちに明らかにさ
れ、神様の正しい理由を知ることができるのです。ですから何よりも
信じて神様と共に生きることが大切です。



5. 水曜日：自由意思弁護論

「もし主に仕えたくないというならば、川の向こう側にいたあなたたちの先祖が仕えていた
神々でも、あるいは今、あなたたちが住んでいる土地のアモリ人の神々でも、仕えたいと思うもの
を、今日、自分で選びなさい。ただし、わたしとわたしの家は主に仕えます。」(ヨシュア記 2 4:
15 新共同訳)

自由意思弁護論とは、「被造物(神様に作られたもの)が、神様から与えられた自由意志を間違
って使った結果が悪となった」という見方です。つまり神様には悪の責任はありません。

しかしなぜ神様は自由意志をお与えになったのでしょうか? 自由意志がなければ私たちは

こころも おな
心を持たないロボットと同じだからです。



わたし かみさま あい
私たちは神様から愛されています。そして神様の愛は私たちの
い かた すべ もと
生き方の全てまで求められています。それは私たちに 幸せに過
わたし しあわ す
ごしてほしいからです。しかし、神様の愛によって生きるのか、そうで
かみさま あい い
ないかは私たちの自由意思で選ぶことで決まります。皆様は神様の
わたし じゆう い し えら き
愛によって生きたいでしょうか。それとも自分勝手に生きていき
あい じぶんかって い
たいでしょうか。

ろく もくようび あい あく 6. 木曜日：愛と悪

げんざい くる しょうらい あら えいこう くら と た
「現在の苦しみは、将来わたしたちに現わされるはずの栄光に比べると、取るに足らないとわ
おも はち じゅうはち しんきょうどうやく
たしは思います。」(ローマ 8：1 8 新共同訳)

かみ ひぞうぶつ じゆう い し あた
神が被造物に自由意思をお与えになったのは、それが愛に必要なだからです。悪の原因は自由意思
わる ほう じゆう い し わる ほう つか あく お
を悪い方に使うことです。この自由意思を悪い方に使うことによって悪が起こったとしても、なお
じゆう い し あい わたし じゆう い し わる ほう つか おお
自由意思がなければ愛ではなくなります。私たちは自由意思を悪い方に使うことによって、多く
みがって じぶんかって こうい み じぶんじしん みがって じぶんかって こうい おこな
の身勝手な、自分勝手な行為を見えていますし、自分自身が身勝手な、自分勝手な行為を行ってし
まっているかもしれません。キリストは十字架の死に至るま
つみ じんせい おく あく えん あく
で罪のない人生を送られたということは、悪がまん延する(悪
ひろ よ なか あい い かた
が広がっている)世の中で、愛の生き方をすることができ
しょうめい わたし あい かみ あい い
るという証明でした。私たちはキリストの愛(神の愛)に生き
もと あく ひろ よ なか
ることが求められています。(悪が広がっている)世の中で、
かみ あい い くる ともな かみさま しょうらい
神の愛に生きることは苦しみが伴いますが、神様は将来に
きぼう あた わす
希望を与えておられることを忘れてはいけません。



なな きんようび けんきゅう 7. 金曜日：さらなる研究

じんるい いっしょう よ かみさま あい たい あく もんだい ふか
ぜひ、人類のあけぼの 1 章を読み、神様の愛とそれに対する悪の問題について深めてみてくださ
い。

たい かみ あい し しん
「わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとど
ひと かみ うち かみ ひと うち いち よん じゅうろく
まる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください。」(1 ヨハネ 4：1 6
しんきょうどうやく
新共同訳)